

# 多角化と資産入替により7兆円市場で高収益を実現する総合商社の成長戦略

組織名: 住友商事株式会社

業種: 総合商社

売上高: 7兆2,920億84百万円  
(2025年3月期・連結)

従業員数: 単独:5,105名 / 連結:83,430名  
(海外支店・事務所従業員123名含む、  
2025年9月30日現在)



## 重要なビジネス課題

住友商事では、グローバルに多角的な事業を展開する中で、ITを活用した経営基盤の刷新や業務効率化が最重要課題となっています。しかし、急速に変化するデジタル領域において、先進的な情報や技術動向を自社だけで収集・分析することは困難でした。特に、中長期のIT戦略策定に向けて、グローバルな事例や技術進化に関する知見を得ることが課題でした。



## Gartnerによるサポート

以下のような領域において、Gartnerのサービスを活用いただいています。

- 年度初や年度末に戦略を共有し、Gartnerの知見をもとに壁打ちや方向性の確認を実施
- 個別のレポートや専門アナリストとの対話(インクワイアリ)を通じて、基幹系システムの将来像やIT組織運営モデル(連邦制 vs 中央集権)のPros & Consを把握
- グローバル事例や市場トレンドを踏まえ、戦略の妥当性を検証し、経営判断の納得性を高めるための助言を受ける



## ビジネス・インパクト

住友商事では以下の取り組みで成果を挙げられています。

- グローバルIT組織の運営方針を明確化し、連邦制・中央集権の最適なバランスを検討
- 基幹系システム刷新に向けた戦略が市場トレンドと整合しているかを確認し、方向性を確信
- 経営層への説明において、Gartnerのデータや事例を活用することで納得性を向上

# 多角化と資産入替により7兆円市場で高収益を実現する総合商社の成長戦略

組織名: 住友商事株式会社

業種: 総合商社

売上高: 7兆2,920億84百万円  
(2025年3月期・連結)

従業員数: 単独:5,105名 / 連結:83,430名  
(海外支店・事務所従業員123名含む、  
2025年9月30日現在)

住友商事は、1919年12月24日に設立された総合商社で、金属、輸送機・建機、資源・エネルギー、化学品、ライフスタイル、メディア・デジタルなど、幅広い事業領域をグローバルに展開しています。2025年3月期には、売上高は7兆2,920億円と前期比5.5%増となり、親会社帰属の当期純利益は過去最高の5,619億円を記録しました。また、非資源分野を中心とする複数セグメントで堅調な成長を遂げ、都市総合開発やメディア・デジタル分野で黒字転換を達成しています。

さらに、資産入替やDX推進など中期経営計画「SHIFT 2023／2026」を通じて資産ポートフォリオの高度化・多様化を図り、配当・自社株買いを含む株主還元にも積極的に取り組んでいます。

\*2026年2月現在



「Gartnerの持つ先進的な情報やアナリストの知見は、我々の戦略策定に大きく寄与しています。

幅広い領域で気軽に相談できる点も非常に助かっています。」

**住友商事株式会社 DX ITグループ IT企画推進部 部長  
三好 康司氏**